

開講科目

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

社会 (開講科目・選択例)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	取得希望の教員免許状				学費(円)	備考	
						中学校1種		中学校2種				
						必修	選択	必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	Q5101	○日本史概論	4	T	■		■		18,000		
		Q5103	○東洋史概論	4	T	■		■		18,000		
		Q5105	○西洋史概論	4	T	■		■		18,000		
		Q5413	日本文化史	2	T					9,000		
		Q5115	東北アジア史	2	T					9,000		
	地理学(地誌を含む。)	Q5503	○人文地理学	4	T	■		■		18,000		
		Q5505	○自然地理学	4	T	■		■		18,000		
		Q5112	○地誌学	4	T	■		■		18,000	地誌を含む。	
		Q5114	歴史地理学	2	T					9,000		
	「法学、政治学」	Q5507	○法学概論	4	T			1科目選択		1科目選択	18,000	※1
		Q5509	○国際政治学	2	T						9,000	※1
		Q5417	政治文化史	2	T						9,000	
	「社会学、経済学」	T5414	○社会学概論	2	T			1科目選択		1科目選択	9,000	※2
		V5413	○経済学概論	2	T						9,000	※2
		Q5423	社会経済史	2	T						9,000	
		Q5111	経済地理学	2	T						9,000	
	「哲学、倫理学、宗教学」	Q5409	○哲学概論	2	T			1科目選択		1科目選択	9,000	※3
		Q5410	○倫理学概論	2	T						9,000	※3
		Q5510	○宗教学概論	2	T						9,000	※3
		Q5419	日本思想史	2	T						9,000	
		Q5420	東洋思想史	2	T						9,000	
		Q5421	西洋思想史	2	T						9,000	
		Q5422	宗教文化	2	T						9,000	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Z5151	中等教科教育法社会Ⅰ	4	T	■		■			18,000	※4
		Z5153	中等教科教育法社会Ⅱ	4	T						18,000	※5
		Z5156	中等教科教育法社会・地理歴史	4	T			1科目選択			18,000	※4 ※6
		Z5158	中等教科教育法社会・公民	4	T						18,000	※4 ※6
							必修(■): 7科目28単位 選択: 4科目10単位以上	必修(■): 7科目28単位 選択: 3科目6単位以上				

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。**⇒p.105参照**
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことはないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【備考】

- ※1:「法学概論」または「国際政治学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※2:「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※3:「哲学概論」、「倫理学概論」、「宗教学概論」の3科目のうち、いずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※4:「中等教科教育法社会Ⅰ」を修得することで、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たす(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することが可能)。
「中等教科教育法社会・地理歴史」および「中等教科教育法社会・公民」を修得することで「学力に関する証明書(中学校教諭免許状「社会」)」にて証明可能だが、「中等教科教育法社会Ⅰ」を修得しなければ、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たさない(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することができない)。
- ※5:出願時に、「社会」を選択した場合のみ登録が可能となる。
- ※6:出願時に、「地理歴史」または「公民」を含む教員免許状課程を選択した場合のみ登録が可能となる。

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

地理歴史 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	必修	学費(円)	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	Q5101	○日本史概論	4	T	■	18,000
			Q5413	日本文化史	2	T		9,000
		外国史	Q5103	○東洋史概論	4	T	■	18,000
			Q5105	○西洋史概論	4	T	■	18,000
			Q5115	東北アジア史	2	T		9,000
		人文地理学・自然地理学	Q5503	○人文地理学	4	T	■	18,000
	Q5505		○自然地理学	4	T	■	18,000	
	Q5114		歴史地理学	2	T		9,000	
	地誌	Q5112	○地誌学	4	T	■	18,000	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5156	中等教科教育法社会・地理歴史	4	T	■	18,000
							必修(■): 7科目 28単位	

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことはならないため注意すること。

公民 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	必修	選択	学費(円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項								
教科及び教科の指導法に関する科目	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	Q5507	○法学概論	4	T	■		18,000	国際法を含む。 ※7
		Q5509	○国際政治学	2	T	■		9,000	国際政治を含む。 ※7
		Q5417	政治文化史	2	T		□	9,000	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	T5414	○社会学概論	2	T	■		9,000	※8
		V5413	○経済学概論	2	T	■		9,000	国際経済を含む。 ※8
		Q5423	社会経済史	2	T		□	9,000	
		Q5111	経済地理学	2	T		□	9,000	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	Q5409	○哲学概論	2	T	■		9,000	※9
		Q5410	○倫理学概論	2	T	■		9,000	※9
		Q5510	○宗教学概論	2	T	■		9,000	※9
		Q5419	日本思想史	2	T		□	9,000	
		Q5420	東洋思想史	2	T		□	9,000	
		Q5421	西洋思想史	2	T		□	9,000	
	Q5422	宗教文化	2	T		□	9,000		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5158	中等教科教育法社会・公民	4	T	■		18,000
						必修(■): 8科目20単位 選択(□): 2科目4単位			

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことはならないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【備考】

- ※7:「法学概論」または「国際政治学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※8:「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※9:「哲学概論」、「倫理学概論」、「宗教学概論」の3科目のうち、いずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。

開講科目

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

宗教 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	取得希望の教員免許状						学費(円)	備考
						中学校1種		中学校2種		高等学校1種			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					必修	選択	必修	選択	必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	宗教学	B5113	○宗教学概論	2	T	■		■		■		9,000	
		B5105	仏教学の基礎	2	T		□		□		□	9,000	
		B5231	仏教学研究(初期・部派)	2	SR		□		□		□	—	
		B5232	仏教学研究(大乘・チベット)	2	SR		□		□		□	—	
		B5233	仏教学研究(中国)	2	SR		□		□		□	—	
		B5234	仏教学研究(日本)	2	SR		□		□		□	—	
	宗教史	B5114	○宗教史	2	T	■		■		■		9,000	
		B5403	浄土教史	2	T		□		□		□	9,000	
		B5404	浄土宗史	2	T		□		□		□	9,000	
	「教理学、哲学」	B5432	○哲学概論	2	T	■		■		■		9,000	
		B5104	浄土学の基礎	2	T		□		□		□	9,000	
		B5106	仏教文化学の基礎	2	T		□		□		□	9,000	
		B5213	浄土学研究	2	SR		□		□		□	—	
		B5214	浄土宗学研究	2	SR		□		□		□	—	
		B5418	仏教哲学(インド)	2	T		□		□		□	9,000	
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Z5161	中等教科教育法宗教Ⅰ	4	T	■		■		■		18,000	※10
		Z5163	中等教科教育法宗教Ⅱ	4	T	■						18,000	
							必修(■): 5科目14単位 選択(□): 7科目14単位	必修(■): 4科目10単位 選択(□): 2科目4単位	必修(■): 4科目10単位 選択(□): 7科目14単位				

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

【履修方法】

●履修方法が「SR」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2~3日間、別途受講料(9,000円)が必要(目安)。なお、2024年度は「B5231仏教学研究(初期・部派)」と「B5213浄土学研究」の開講日程が重複しているため、同時に受講することはできない。

【備考】

●※10:「中等教科教育法宗教Ⅰ」を修得することで、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たす(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することが可能)。

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

国語 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	取得希望の教員免許状						学費(円)	備考
						中学校1種		中学校2種		高等学校1種			
						必修	選択	必修	選択	必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	M5111	○日本語学概論	4	T	■		■		■		18,000	音声言語及び文章表現に関するものを含む。
		M5420	言語学概論	4	T						□	18,000	
		M5113	日本語文法	4	T						□	18,000	
	国文学(国文学史を含む。)	M5107	○日本文学概論	4	T	■		■		■		18,000	国文学史を含む。
		M5109	○日本文学史	4	T	■		■		■		18,000	
		M5501	文学概論	4	T						□	18,000	
		M5103	京都と文学(古典)	2	T						□	9,000	
		M5104	京都と文学(近・現代)	2	T						□	9,000	
	漢文学	M5117	○漢文学	4	T	■		■		■		18,000	
	書道(書写を中心とする。)	M5505	○書道	4	R・S	■		■		□	□	18,000	書写を中心とする。 ※11
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Z5171	中等教科教育法国語Ⅰ	4	T	■		■		■		18,000	※12
		Z5173	中等教科教育法国語Ⅱ	4	T	■				□	□	18,000	
						必修(■): 7科目 28単位	必修(■): 6科目 24単位	必修(■): 5科目 20単位 選択(□): 4単位					

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことはないため注意すること。

【履修方法】

- 履修方法が「R・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。受講日数が4日間、別途受講料(26,000円)が必要(目安)。

【備考】

- ※11: 中学校教諭免許状申請時のみ使用可能。高等学校教諭免許状申請時の単位には算入できない。
- ※12: 「中等教科教育法国語Ⅰ」を修得することで、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たす(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することが可能)。

はじめに

教員免許状
資格の取得

学部(本科)

課程本科

科目履修コース

本科入学資格コース

各種実習

開講科目

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

書道 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	必修	選択	学費(円)	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項									
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道(書写を含む。)	M5505	○書道	4	R・S	■		18,000	書写を含む。
		書道史	M5119	○日本書道史	2	T	■		9,000	
			M5120	○中国書道史	2	T	■		9,000	
		「書論、鑑賞」	M5507	○書論	2	T	■		9,000	
		「国文学、漢文学」	M5107	○日本文学概論	4	T	■		18,000	※13
			M5117	○漢文学	4	T	■		18,000	
			M5109	日本文学史	4	T		□	18,000	
			M5501	文学概論	4	T		□	18,000	
			M5103	京都と文学(古典)	2	T		□	9,000	
	M5104	京都と文学(近・現代)	2	T		□	9,000			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5176	中等教科教育法書道	4	T	■		18,000		
						必修(■): 7科目22単位 選択(□): 2単位以上				

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【履修方法】

- 履修方法が「R・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。受講日数が4日間、別途受講料(26,000円)が必要(目安)。

【備考】

- ※13:「日本文学概論」または「漢文学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

中国語 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	取得希望の教員免許状			学費(円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					中学校1種	中学校2種	高等学校1種		
教科及び教科の指導法に関する科目	中国語学	N5109	○中国語概論	4	T	■	■	■	18,000	
		N5501	中国語学研究1	2	SR				—	
		N5502	中国語学研究2	2	SR				—	
	中国文学	N5101	○中国現代文学史	4	T	■	■	■	18,000	
		N5203	○中国文学研究基礎1	2	SR	■	■	■	—	
		N5204	○中国文学研究基礎2	2	SR	■	■	■	—	
	中国語コミュニケーション	N5231	○中国語基礎演習1	2	SR	■	■	■	—	
		N5232	○中国語基礎演習2	2	SR	■	■	■	—	
	異文化理解	N5535	○異文化理解「中国」	4	T	■	■	■	18,000	
		N5533	日中比較文化研究	4	T				18,000	
		N5537	中国文化研究	4	T				18,000	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Z5181	中等教科教育法中国語Ⅰ	4	T	■	■	■	18,000	※14
		Z5183	中等教科教育法中国語Ⅱ	4	T	■			18,000	
							必修(■): 9科目28 単位	必修(■): 8科目24 単位	必修(■): 8科目24 単位	

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことはならないため注意すること。

【履修方法】

- 履修方法が「SR」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2~3日間、別途受講料(9,000円)が必要(目安)。

【備考】

- ※14:「中等教科教育法中国語Ⅰ」を修得することで、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たす(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することが可能)。

はじめに

教員免許状
資格の取得

学部
(本科)

課程
本科

科目履修
コース

本科入学
資格コース

各種
実習

開講科目

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

英語 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	取得希望の教員免許状					学費(円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					中学校1種		中学校2種	高等学校1種			
						必修	選択	必修	必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	P5105	○英語学概論	2	T	■		■	■		9,000	
		P5207	英語学研究	2	T		□			□	9,000	
		P5205	○英文法	2	T	■		■	■		9,000	
	英語文学	P5101	○英語文学論1	2	T	■		■	■		9,000	
		P5102	○英語文学論2	2	T	■		■	■		9,000	
		P5208	英語文学研究1	2	T		□			□	9,000	
		P5209	英語文学研究2	2	T		□			□	9,000	
	英語コミュニケーション	P5106	○English Conversation1	1	S	■		■	■		—	
		P5107	○English Conversation2	1	S	■		■	■		—	
		P5108	○English Conversation3	1	S	■		■	■		—	
		P5109	○English Conversation4	1	S	■		■	■		—	
		P5401	○English Writing	2	T	■		■	■		9,000	
		P5110	○English Listening Skills1	1	S	■		■	■		—	
		P5111	○English Listening Skills2	1	S	■		■	■		—	
	異文化理解	P5404	Media English	2	T		□			□	9,000	
		P5416	○英語圏文化の理解	2	SR	■		■	■		—	
		P5417	西洋言語文化論	2	T		□			□	9,000	
		P5418	西洋社会文化論	2	T		□			□	9,000	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	Z5186	中等教科教育法英語Ⅰ	4	T	■		■	■		18,000	※15	
	Z5188	中等教科教育法英語Ⅱ	4	T	■					18,000		
						必修(■): 14科目26単位 選択(□): 1科目2単位	必修(■): 13科目22単位 選択(□): 1科目2単位	必修(■): 13科目22単位 選択(□): 1科目2単位				

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。**⇒p.105参照**
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること。

【履修方法】

- 履修方法が「S」「SR」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2~3日間、別途受講料(4,500~14,000円)が必要(目安)。

【備考】

- ※15:「中等教科教育法英語Ⅰ」を修得することで、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たす(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することが可能)。

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

数学 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	取得希望の教員免許状			学費(円)	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					中学校1種	中学校2種	高等学校1種			
教科及び教科の指導法に関する事項	代数学	S5561	○代数学概論	4	T	■	■	■	18,000		
		S5563	○代数学演習	2	I・S	■	■	■	10,000		
	幾何学	S5566	○幾何学概論	4	T	■	■	■	18,000		
		S5568	○幾何学演習	2	I・S	■	■	■	10,000		
	解析学	S5571	○解析学概論	4	T	■	■	■	18,000		
		S5573	○解析学演習	2	I・S	■	■	■	10,000		
	「確率論、統計学」	S5576	○確率論	4	T	■	■	■	18,000		
		S5578	○確率論演習	2	I・S	■	■	■	10,000		
	コンピュータ	S5582	○プログラミング1	2	I・S	■	■	■	10,000		
		S5583	プログラミング2	2	I・S				10,000		
		S5584	データ解析演習	2	I・S				10,000		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		S5656	中等教科教育法数学Ⅰ	4	T	■	■	■	18,000	※16
			S5658	中等教科教育法数学Ⅱ	4	T	■		■	18,000	
							必修(■): 11科目34単位	必修(■): 10科目30単位	必修(■): 10科目30単位		

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことになるため注意すること。

【履修方法】

- 履修方法が「I・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2~3日間、別途受講料(4,500~11,000円)が必要(目安)。

【備考】

- ※16:「中等教科教育法数学Ⅰ」を修得することで、「各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)」の事項を満たす(「学力に関する証明書」において確認欄に○を付して証明することが可能)。
- 科目の履修難易度については、理学部1~2年相当の内容となります。

はじめに

教員免許状
資格の取得

学部
(本科)

課程
本科

科目履修
コース

本科入学
資格コース

各種
実習

開講科目

* 開講科目 第6条別表第4

当該選択例は、教育職員免許法施行規則第15条第1項の表に規定する単位数をもとに作成しています。そのため、**当該選択例のとおり履修登録を行った場合でも、申請先の都道府県教育委員会が定める教育職員検定の要件を充足することを確約するものではありません**ので留意してください。法定科目区分に対する必要単位については、必ず申請先の都道府県教育委員会に確認してください。

情報 (開講科目・選択例)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	必修	選択	学費(円)	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項									
教科及び教科の指導法に関する科目	情報社会(職業に関する内容を含む)・情報倫理	T5254	○情報社会論	2	T	■		15,000		
		T5256	○メディア・リテラシー	2	T	■		15,000		
		T5253	情報・メディアとコミュニケーション	2	T		□	15,000		
		T5257	メディア文化論	2	T		□	15,000		
		T5524	○情報ビジネス	2	T	■		15,000		
		T5423	情報産業と職業	2	T		□	15,000		
		T5424	マスコミ論	2	T		□	15,000		
	コンピュータ・情報処理	T5255	○コンピュータ論	2	T	■		15,000		
		T5258	○情報・メディア実習1	1	I・S	■		10,000	実習を含む。	
		T5533	基礎統計学	4	T		□	30,000		
	情報システム	T5521	○情報システム論	2	T	■		15,000		
		T5260	○情報システム実習	1	I・S	■		10,000	実習を含む。	
	情報通信ネットワーク	T5421	○情報通信ネットワーク論	2	T	■		15,000		
		T5522	○情報通信ネットワーク実習	1	I・S	■		10,000	実習を含む。	
	マルチメディア表現・マルチメディア技術	T5523	○デジタル・メディア論	2	T	■		15,000		
		T5259	○情報・メディア実習2	1	I・S	■		10,000	実習を含む。	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5191	中等教科教育法情報	4	T	■		30,000	
							必修(■)： 12科目22単位 選択(□)： 2単位以上			

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照
1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことはならないため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「I・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が1日間、別途受講料(4,500~11,000円)が必要(目安)。